

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	ごみ処理広域化推進事業		
事業担当	環境部 環境施設課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'03	③〈循環型社会〉循環型社会をめざして環境負荷の少ない暮らし方を定着させる	
	'02	2 ごみの排出を抑制し、資源化を進める	
根拠法令等	ごみ処理の広域化計画について(厚生省環境整備課長通知)他		
対象・受益者	平塚市民	事業期間	
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働: 】		
目的・目標		事業の概要	
ごみ処理広域化実施計画が策定され、環境負荷の低減、ごみ処理の効率化、経費縮減が図られています。		ごみ処理の効率化を図るため、広域的なごみ処理に関する事項等を協議し、ごみ処理広域化実施計画に基づき広域化を進めます。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	ごみ処理広域化進捗率(剪定枝資源化施設:二宮町)			単位	%
	説明・算定式	平成27年度を100%とした進捗率。H24:地質調査等 10%、H25:環境影響調査等 25%、H26:建設 65% (平成24年度から)				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標			10	35	
	実績			4		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	③:遅れている					
	遅れている理由	DBO方式を採用することとなり、整備スケジュールの見直しを行ったため。				
平成24年度の主な取組と成果						
剪定枝資源化施設のPFI導入可能性調査を実施した結果、事業をDBO方式で実施することが決定しました。また、この結果を受けてPFI等アドバイザー業務に着手しました。						
平成24年度の検証結果	C:十分に成果をあげることができなかった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	平塚・大磯・二宮ブロックでゴミ処理の課題を解決していくため、事業の必要性は高くあります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	環境負荷の低減や効率的なゴミ処理が可能となり、経費の縮減も図られることから事業の有効性は高くあります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	平塚・大磯・二宮ブロックの廃棄物処理の現状と課題を抽出して、広域処理施設の整備計画等を策定し、目的や負担等は妥当です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	ゴミの広域処理により、経費や施設をそれぞれの市町が補完し合うため、効率性が高くあります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		平塚市・大磯町・二宮町の1市2町の枠組みで、ゴミ処理広域化の実現に向けて施策の検討や施設整備を進めることが必要です。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		ゴミ処理広域化実施計画に基づく事業の実施	ゴミ処理広域化実施計画に基づく事業の実施	ゴミ処理広域化実施計画に基づく事業の実施	ゴミ処理広域化実施計画に基づく事業の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	5,082
	起債	0	0	8,000	19,800
	その他 特財	8,597	6,251	2,283	1,146
	一般財源	83,494	65,239	55,038	74,197
事業費 (A)		92,091	71,490	65,321	100,225
執行率 (%)		92.41	96.96	95.28	
内訳	職員 (人)	1.45	2.15	2.10	2.10
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		11,976	17,424	16,832	16,691
フルコスト (A+B)		104,067	88,914	82,153	116,916

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針	広域化施設等の整備に取り組みます。
課長コメント	ゴミ処理広域化については、広域化計画に沿って推進します。